

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会



委員長

中村 勉

八戸中央RC

昨年に引き続き、クラブ拡大・会員増強委員長を仰せつかりました、中村勉（八戸中央RC）です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。2020～2021年度RI会長ホルガー・クナーク氏の掲げたRIテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」

- ①ロータリアンがリーダーシップを強化する機会を作り、奉仕の理念を行動へ…。
- ②支援を必要とする人々の生活を向上する活動を…。源新和彦ガバナーの地区テーマは「信じ合おう」と述べられました。地区目標として10項目を掲げ、まとめとして「私達のあらゆる活動が、どこかで誰かのために機会の扉を開いています」と。私達地区クラブ拡大・会員増強委員会として1年間のプログラムを計画いたしました。皆様ご存じのごとく、この新型コロナウイルスの影響で早くも計画倒れになっており、とても残念です。

- 1. 3月の会長エレクト研修セミナーの中止
- 1. 4月開催の国際ロータリー、第1・第2・第3ゾーン会員基盤向上セミナー開催の中止
- 1. 5月の地区研修・協議会の中止
- 1. 6月クラブ拡大・会員増強委員会開催の中止
- 1. 7月18日（土）、青森国際ホテルにおいての地区会員増強セミナーの中止

以上、現在での中止が決まっております。なお、10月の地区女性会員の集いの開催については、ただいま検討中でございます。クラブ会員数10名以下のクラブ訪問について、令和3年度中にはお邪魔したいと考えております。どうか地区の皆様のご協力をご指導をお願い申し上げます。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長

花田 仁

三沢東RC

源新年度、公共イメージ向上委員会の地区目標としては

- ①デジタル化への対応（My rotary登録率50%超）
  - ②公共イメージ向上（SNS活用）
- となっております。

My rotary登録率に関しては3年前から継続して参りました。着々と登録率を上げ、40%まで伸ばしました。目標の50%にあと一歩です。しかし目的は登録率を上げることではありません。My rotaryを通して自クラブ・地区の立ち位置を確認し、ロータリークラブの理念である「ロータリアン一人ひとりが高い職業倫理を持ち、社会奉仕の理念を実践する」を目指し活動して行くことです。

また、公共イメージ向上委員会は会員減少にストップをかける目的もあります。会員をただ増やすばかりではなく、より高い人間性を目指したいものです。

SNSの活用で公共イメージ向上を図ると共に、各クラブで今一度ロータリー活動について話し合ってみては如何でしょうか。

## 社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長

花田 勝彦

五所川原RC

### 1 ガバナーからの要請：

若年層にインパクトを与える活動の支援

### 2 2020-21活動計画

#### (1) 青森大学との連携

青森大学との教育連携協定に基づいて、これまで5年間「じょっぱり経済学」を実施してきたことを土台にして、社会奉仕・職業奉仕に関する活動を企画・実行する。その際、青森大学に設置されるローターアクトクラブとの連携を踏まえた活動を行う。

また、これまでと同様、青森大学が主宰する、外部講師が担当する講座（あおもり学）に、本地区から講師を数名派遣する。

#### (2) ローターアクターや大学生へロータリアンの職業紹介の機会を設ける

地区内のロータリアンが職業人として培ってきた知識、経験、技術等を、若いローターアクターや大学生に紹介し、伝える機会を作りたい。

#### (3) 各クラブにおける職業奉仕、社会奉仕のフォーラムへの協力

特に職業奉仕月間（1月）に各クラブでフォーラムや卓話を実施する場合には、当委員会として情報提供や講師派遣等の協力を行う。

### 3 各クラブの社会奉仕委員長、職業奉仕委員長が作成するクラブの活動計画について

#### (1) 社会奉仕委員長

例：社会奉仕に関する卓話、クラブがこれまで実施してきた補助金を使った事業、ゴミ拾いや植樹等の社会奉仕活動の企画・実施、対外的な青少年の組織（JUMP チーム等）の活動支援など

#### (2) 職業奉仕委員長

例：四つのテストの唱和と利用、職業奉仕に関する卓話、職場訪問、職業奉仕月間にフォーラムを開催、職業分類の整備と会員増強委員会との連携（未充填職業分類の会員を充填する）など

### 4 おわりに

地区の社会奉仕・職業奉仕委員会は、各クラブの社会奉仕委員会や職業奉仕委員会の活動を支援する役割があります。クラブの委員長さんにおかれましては、お気軽に地区委員会にお問い合わせ下さい。卓話や資料の提供など、お手伝いできることがあります。また、過去5年間の「じょっぱり経済学」のDVD（青森ケーブルテレビ収録）をガバナー事務所で保管しています。パストガバナーや、各クラブから推薦いただいた多岐にわたる職業人としてのロータリアンのお話を聞いてみませんか。

## ロータリー財団委員会



委員長

佐々木 眞一

むつ中央RC

新型コロナ感染の影響により世界が振り回されており、我々の地区も同様に影響を受けております。しかし、RI会長の早く、柔軟な考えにより財団の資金をコロナ対策に使用して欲しいと連絡がありました。ロータリークラブは異業種の皆様の集まりであり、その利点を生かし情報の収集・医療用品の購入に大変活用され、大いに役立ちました。

地区補助金委員会としては2度の締め切り延長をして多くのクラブからコロナ対策として利用を促進しましたが、申請時期に多くのクラブが休会していたため申請クラブは昨年を超えることはありませんでした。コロナの影響で計画した補助金事業も変更せざるを得ない場合は変更も可能といたしますので、財団委員会までご連絡下さい。

グローバル補助金委員会はタイの第3330地区から5,000USDの協力をいただき合計50,000USDのコロナ対策としてグローバル補助金を当地区で使用できるように計画し、県民の命と健康を守る・医療崩壊を阻止するため県庁に医療用品を寄贈してまいりました。今後の第2、3波の襲来に控え半額は対策として備えることにいたしました。

資金推進委員会は源新ガバナーの財団への寄付目標として、年次基金を一人150USD、ポリオプラスの寄付一人30USDとして活動していただきます。又、昨年と同様寄付ゼロクラブ、ゼロを目指します。

平和フェロシップ・奨学金・学友委員会としては当地区としては二人目のグローバル補助金利用の奨学生を現在進めております。

ポリオ対策委員会は本年度も昨年と同様にインドでのNIDを実施する事を計画します。

今年度も地区補助金・財団セミナーを7月26日と11月29日に青森国際ホテルで実施予定です。全クラブの参加をガバナーも望んでおりますので補助金申請するクラブはご出席をお願いいたします。今後も財団へのご寄付・ご協力をお願いいたします。

R財団

## 地区補助金委員会



委員長

**時苗 俊二**

弘前西RC

### 2020 - 21年度 地区補助金について

地区補助金は、クラブ会員から3年前の寄付金を原資として、地域のために活用できる補助金です。クラブの地域への社会貢献活動として活用できます。なお、クラブ独自に実施しているプロジェクトがある場合も、補助金を使った活動にすることで、クラブ負担を低減させることに繋がり、なおかつプロジェクトを地区内の全クラブで共有できるメリットがありますので、ぜひ地区補助金をご活用ください。

### スケジュール

地区補助金の1年のスケジュールですが、年2回の財団セミナーがあります。

7月は前年度プロジェクトの報告がメインとなりますが、今年は新型コロナウイルス対策のため、例年通り各クラブが集まっての報告は見送ることになります。12月のセミナー出席が、次年度の補助金プロジェクトの要件となりますので、全クラブの出席をお願いします。

月	イベント	備考
7月	財団セミナー	前年度プロジェクトの報告
8月	地区補助金の振込予定	
12月	財団セミナー	次年度地区補助金の要件
3月	地区補助金の申請締切	次年度地区補助金の申請 (ガバナー事務所へ)
5月	地区補助金の確定	

### 申請について

2020-21年度の地区補助金プロジェクトの申請状況は、新型コロナウイルスの影響で、申請数が懸念されましたが、辞退するクラブはあったものの、新規申請クラブもあり、昨年度同様の34クラブでした。引き続き全クラブ申請に向けてサポートしてまいりますので、申請やプロジェクト内容についてご質問ある場合は、気軽にお問い合わせください。

R財団

## グローバル補助金委員会



委員長

**伊東 睦**

三沢東RC

- ・申請クラブへのサポート
- ・RI3330地区への視察の手配

R財団

## 資金推進委員会



委員長

**三浦 順子**

弘前アップルRC

- ・12月末までに寄付0クラブ ゼロに!
- ・一人年次寄付 150 \$達成
- ・ポリオプラスへの寄付 一人30 \$達成
- ・ロータリーカードの普及

R財団

## 平和フェローシップ・奨学金・学友委員会



委員長

**工藤 真人**

青森RC

平和フェローシップについては、毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,300人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、115カ国以上で活躍し、政府、NGO、教育、法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮していますが、留学先大学院が国外4大学に限定されるなど条件も厳しい奨学制度です。

グローバル補助金奨学金は、4年制大学を修了した方(または見込みの方)を対象に、ロータリーの重点分野(・平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向



上・地域社会の経済発展)で活動する 未来のリーダーを育成するためのものです。海外に留学を希望する、4年制大学を2年以上修了した方(または見込みの方)を対象に、ロータリー財団の奨学金を提供し、支援しています。

地区補助金奨学金は、高校3年生卒業予定者を募集して、国内の大学へ入った際に奨学金を支給する制度です。

平和フェローシップ奨学生、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生とも今年度も募集いたします。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

R財団

## ポリオ対策委員会



委員長

川崎 益美

八戸北RC

ロータリー活動の重点分野に「疾病との闘い」があります。特にポリオ(小児まひ)根絶活動を30年以上も前から、世界のロータリアンは取り組んできました。その中で、我が地区は2001年から2020年まで、インドのデリーに赴き現地のロータリアンと一緒に5歳未満の子供たちに生ワクチンの投与活動をしてまいりました。【NID…全国一斉ワクチン投与日に参加】

20年の節目となりました前回は、沼田ガバナーご夫妻をはじめ、地区内から11名の参加があり、現地のロータリアンと記念の感謝のセレモニーを開催いたしました。私達が行って活動をすることで、現地のロータリアンも勇気を貰うとのことと、日本の他地区から初参加のロータリアンも、子供たちに日本では体験できない投与活動ができて、とても感動したとの声を多くいただきました。

チームポリオジャパンのリーダーでもある関場パストガバナーからご指導を賜り、21回目の今年度から、心新たに地区行事として、インドに赴き引き続きポリオワクチン投与活動を継続してまいります。

また、「世界ポリオデー(10月24日)」に各クラブで何かアクションを起こしてほしいとの源新ガバナーの方針があります。地区委員会として、アクションの為の情報提供や啓蒙活動に取り組んでまいります。

さらに、地区目標の「ポリオプラスに一人当たり30ドルの寄付」が達成されるように広報および募金活動のお願いをしてまいります。

今年度もインドへの多数のご参加と、世界ポリオデーのご協力、そしてポリオプラスのご寄付を宜しくお願い致します。

国際奉仕・青少年奉仕部門

## 青少年交換委員会



委員長

細川 勝也

弘前RC

### 1. 2020-21年度長期青少年交換派遣学生・来日学生受入れクラブ募集

5/23(土) 2020-21年度地区研修・協議会(DTA)において募集要項と応募申込用紙を配布予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で派遣が可能かどうか判断できない状態です。また、2020年8月からの派遣候補学生が交換事業中止となった場合、2021年8月からの派遣のための試験に優先して選考、合格とすることを4/4危機管理委員会で決定いたしております。

### 2. 2019-20年度長期青少年交換派遣学生・来日学生の現況について

3/17新型コロナウイルス感染症の広がりを懸念し、スポンサークラブとスポンサー地区(2830)が派遣学生と来日学生の早期帰国を決定いたしました。  
※派遣学生1名

3/21 アメリカ合衆国より早期帰国した。

※来日学生1名

3/29 アメリカ合衆国へ早期帰国した。

※派遣候補学生3名

3/23-25 第33回国際ロータリー交換学生スキーの集い in 白馬中止

5/16-17 第25回国際ロータリー日本青少年交換研究会山形大会中止

5/25 台湾のロータリアンからの善意のマスクを3名へ贈呈した。

### 3. 2020-21年度長期青少年交換派遣学生についての対応

派遣学生3名が、2020年8月からアメリカ合衆国へ派遣が決定しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響でどうなってしまうか、本人・保護者ともに不安な日々を過ごしている状態でした。4/4危機管理委員会に提案の上、4/8各家庭へ以下の指針について、文書を送付しました。2020年5月31日までに、外務省感染危険情報の危険度レベルがレベル1に回復しない限り「2020-21年度の青少年交換は中止する」ことを指針とします。

国際奉仕・青少年奉仕部門

## インターアクト委員会



委員長

**柴田 文彦**

むつ中央RC

今年度の年次大会は中止することとなりました。新型コロナウイルス発生による弊害は今後も計り知れません。しかしながら現状を踏まえて個々のインターアクトクラブが更なる飛躍の年度としたいと考えております。

各ホストクラブにおかれましては、インターアクトクラブが積極的に活動できますように、これまで以上の積極的支援をお願いしたいと思います。同時に東、西、中、南グループ内で他クラブにもお願いして活動の幅を広げていただきたいと思います。具体的には、インターアクトクラブの活動において次の3つの分類をお願いしたいと思います。

1つ目は、例年通り各ホストクラブの行事への参加要請。クリスマス会、家族会等のクラブ独自の行事への参加。

2つ目は、インターアクトクラブが計画した行事の支援。ホストクラブは、インターアクトクラブが計画した事業を把握して協力支援をする。

3つ目は、新型コロナウイルス対策として各インターアクトクラブで何かできることはないのか検討し、実行可能なものおよび実践したことを地区委員会に報告をしていただくこと。また、その過程において地区行事の一環として行うべき事案である場合、当地区で行うべきか否かを検討し対処したいと思います。

以上の3つのことを充実してもらうことで、例年にはない内容ある年度にさせていただくことを希望いたします。

最後に、昨年度行われた台湾国宜蘭県羅東市での“インターアクトの翼”に関して、今年度以降の継続につきましては、当地区での内情、受け入れ地での現状等が現在把握できないことから未定となっております。必須の行事と認識していますので、確実な材料を揃えて実施できる方向で働きかけたいと考えております。

国際奉仕・青少年奉仕部門

## ローターアクト委員会



委員長

**田中 裕介**

弘前アップルRC

### 【地区目標】

- ・ローターアクトクラブ新設
- ・ローターアクトクラブへの新たな支援モデルの策定

2020年7月1日からローターアクトクラブが国際ロータリーの一員となり、今までの親子の関係から対等な位置づけとなります。

それに伴い、今まで18歳から30歳の若者で構成されていたローターアクトクラブが、年齢制限が撤廃され18歳以上の若者で構成できるようになりました。もちろん何歳までいてもいいとはいえ、あまりに高齢の方がアクトというのも違和感があるので、上限年齢については各クラブの細則にて制定していただきます。

そのため、今まで30歳を迎え泣く泣く退会しなければならなかった若者たちも再度戻ってこれるのではないかと考えております。

日本における30歳はまだこれから経験を積んでいく存在です。自己成長の場としてより長く経験してもらえるようになるのは非常に大きなことです。

当地区にも過去多くのローターアクトクラブが存在していました。クラブがなくなったことにより活動の場を失った人たちにとって、再度ボランティア活動や非日常を経験できる場を提供できるチャンスができました。

是非多くのクラブの方々にお力をお借りして卒業生を中心とした新ローターアクトクラブを設立していきたいと考えております。

若い彼らだからこそEクラブのような形で新クラブができれば、当地区にとっても新たなモデルとなり刺激を与えてくれる存在となるかもしれません。そして、アクターを地区委員に加えることが推奨されると定められております。

より若者の意見をロータリーとしても取り入れやすい環境が整っていくと考えられます。そのためにはロータリアンの皆様のご理解とご協力が必要になってまいります。

これまでの親子の関係でなく、対等な関係のローターアクターと様々な意見交換を通して相互理解に努め、彼らを今まで以上に歓迎し、当地区の活動をより発展させていきたいと思います。

## RYLA 委員会



委員長

**竹内 知弘**

弘前RC

2019-2020年度のRYLAは中止とさせて頂きましたが、2020-2021年度では、開催予定でございます。

RYLAのプログラムとしては、

1. 地域の未来のリーダーに投資をしましょう。
  2. そのリーダーの倫理観と自信を養いましょう。
  3. 現代の若者が直面する問題について学びましょう。
- をコンセプトに、活動をしていきたいと考えております。

それぞれのコンセプトに欠かせないのは、ロータリアンの参加でございます。

若い人たちへのプログラムではありますが、RYLAをとおしてロータリーのおもしろさを知って頂き、いずれはロータリーへ参加もして頂きたいという隠れた思いもございます。

会員数増加のため、長期戦略計画の投資と考えて奮ってご参加くださればと存じます。

募集人員は、例年18歳から30歳までを対象としていますが、少し対象を広げられたらと考えております。また昨年度は数名一般企業からの参加もございましたので、是非皆様からの従業員からの参加も重ねてお願い申し上げます。

## 米山記念奨学委員会



委員長

**野坂 幸子**

野辺地RC

### 2020-2021年度の取り組み

1. 寄付増進として、特別寄付一人1万円以上と普通寄付一人3千円を目標にすることで、奨学生の人数の維持と加増に努める。
2. 面接選考試験では、優れた米山奨学生の選考に努めると共に、指定校を八戸市にも広げる。
3. 修了した奨学生の米山学友会組織作りと活動を支援する。
4. 「新春米山の集い」を開催し米山奨学生とロータリアンとの交流を深める。

### 年間活動計画

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 6月27日(土)        | 新米山生とカウンセラー研修会         |
| 7月18日(土)        | 卓話講習会                  |
| 12月5日(土)        | 面接選考試験                 |
| 1月30日(土)・31日(日) | 新春米山の集い                |
| 3月7日(土)         | 米山奨学生 修了証書授与式          |
| 4月3日(土)         | 米山新奨学生・カウンセラーオリエンテーション |
| 4月24日(土)        | 米山生卓話講習会               |
| 6月5日(土)         | カウンセラー研修会              |

米山奨学生は世界をつなぐ「宝」  
共に育てよう。

## RLI委員会



委員長

**米谷 恵司**

青森モーニングRC

昨年度に引き続きRLI委員会委員長を仰せつかりました青森モーニングロータリークラブ所属の米谷恵司でございます。

RLI(Rotary Leadership Institute)はロータリーリーダーシップ研究会の略で、1992年アメリカ、ニュージャージー州の元RI理事のデビット・リンネット氏の発案で始められました。そして現在は全世界110カ国、約300近い地区にロータリーの研究組織として発展しております。また我が地区はRLIの先進地区になっており、黒田パストガバナーはRLI日本支部特別顧問として、また山崎パストガバナーはRLI地区代表委員として2018年度から2021年度までお務めになっております。

RLIの研修は従来の一方向的な講義を聴くスタイルではなく、予め決められたテーマのもと皆さんで自由に意見を述べ合うスタイルで行われます。そしてディスカッションリーダーは進行役として質問を投げかけながら参加者の自発的な考えや意見を引き出していきます。参加者は解答を求めるのではなく、テーマに対する参加者の発言から自分独自の解答や方向性を見出すという研修方法になっています。この手法はロータリークラブの将来展望を考えるにあたり、クラブを牽引するリーダーの育成、そしてクラブの継続性、活性化、刷新性を図る上で最も大切な事だと考えます。その為にはロータリアン各自のスキルアップが必要不可欠です。それを実現する為是非ともRLIをお役立て頂きたいと考えております。

今年度はここ数年来同様に、一泊二日の集中研修で11月14日(土)・15日(日)、青森市「はまなす会館」にて開催予定です。将来クラブのリーダーとして活躍されたい方、入会3年未満の方は是非参加をお願いいたします。そして参加の方法がもうひとつあります。RLIの運営に欠かせないディスカッションリーダーです。こちらの育成にも力を注いで参りたいと思います。昨年はディスカッションリーダーが初めての方が数人いらっしゃいましたが、事前研修の成果が表れ見事な進行だったと思いました。

今年度はディスカッションリーダーの資質向上を目指しディスカッションリーダー研修会を数回予定しており、一定レベルにて研修を終了した会員にはDL認定証を発行する予定で検討中でございます。

RLI委員会は皆様クラブの益々の発展、活性化の為精一杯ご協力いたす所存でございますので、多数のご参加宜しくお願い致します。